

平成30年4月吉日

各 位

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

福祉機器コンテスト 2018 事務局

福祉機器コンテスト2018 催及び作品募集について

【応募、掲示、関係先への周知依頼】

拝啓 貴ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび当協会が主催する「福祉機器コンテスト2018」を開催することとなりました。当コンテストは、障害者・高齢者のために新しく開発された福祉機器を発掘し、優れた機器を表彰するとともに、集められた情報を公開することを通じて、福祉機器の開発・普及に寄与することを目的として実施されるもので、今年で30回目を迎えます。

今回30周年記念として、記念特別賞の設置や参加費の半額割引（一般社団法人日本リハビリテーション工学協会会員のみ）なども企画いたしました。協会パンフレットを同封いたしますので、ご応募の際はもちろんのこと、内容にご興味があれば入会をご検討くださるようお願いいたします。

つきましては当コンテスト募集要項を送付させていただきますので、ホームページへの掲載や、関係先への周知、並びに作品応募をお願いしたく存じます。

なお、募集要項の追加や電子データが必要でしたら、下記事務局までご連絡いただければ対応させていただきます。

誠に勝手なお願いで申し訳ありませんが、広報等何卒よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

敬具

福祉機器コンテスト 2018 事務局

〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田 3-13-33

(有)車座内 担当:巴

Tel:022-289-9603

Eメール: contest@resja.or.jp

福祉機器コンテスト



～人と技術のベストマッチング～

この福祉機器コンテストは、障害者や高齢者のために新しく開発された福祉機器を発掘し、優れた機器を表彰するとともに、学生を対象とした啓発・普及活動を行うことで、この領域に関する認識と参画を促進することを目的として1989年より開催しています。

最優秀賞賞金 10万円

機器開発部門：5/7(月)～6/11(月)

募集期間

学生部門：5/7(月)～7/9(月)

最優秀賞賞金 5万円



写真は福祉機器コンテスト 2017 入賞作品

主催：一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

後援：厚生労働省 経済産業省 公益財団法人 テクノエイド協会

(予定含む) 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会 一般社団法人 日本作業療法士協会

特別協賛：フランスベッド株式会社

協賛：株式会社 有菌製作所 川村義肢株式会社 株式会社 ケアフォース 株式会社 ケープ

(予定含む) 日陶科学株式会社 株式会社 ミクニライフ&オート 株式会社 モリトー



www.resja.or.jp/contest

応募に関する詳細は、裏面かホームページをご参照ください。

福祉機器コンテスト 2018 募集要項 Tanks 30周年記念

募集対象・部門

●機器開発部門

企業・研究機関・団体・一般の方など、学生を除くすべての人を対象とします。

オリジナルな開発機器やシステム（治療器具は除く）を募集します。

応募には実物の作品が必要です。

2016年12月31日以前に市販されたものは応募できません。

●学生部門

小学生・中学生・高校生・専門学校生・大学生・大学院生などの学生を対象とします。

アイデアや研究、開発機器などを募集します。

応募には実物の作品が必要ですが、小中学生は模型でも応募できます。

応募方法

応募要項や注意事項などをよくお読みいただいたうえで、応募に必要な書類を揃えて、応募期間中に『福祉機器コンテスト2018 事務局』まで郵送してください。日付は消印有効です。

●必要書類 機器開発部門

- ・応募用紙
- ・作品の写真と動画データ
- ・参加費用の振込金受領書のコピー

学 生 部 門

- ・応募用紙
- ・作品の写真

※動画に関しては、できれば添付してください。

●参加費用 機器開発部門

応募作品1点につき10,000円
（一社）日本リハビリテーション
工学協会会員の場合は5,000円

学 生 部 門

応募作品1点につき1,000円

●振込先 七十七銀行沖野支店 普通5013937 福祉機器コンテスト2018 事務局長 巴 雅人

※振込手数料は応募者負担をお願いします。

選考方法

専門性を有した選考委員により、機器の有効性やオリジナリティ、実用化の可能性、経済性、コストパフォーマンスなどを基準に行います。学生部門では、発想の豊かさや将来性等も考慮に入れて選考します。

両部門とも2回の選考を行い入賞作品を選定します。機器開発部門の二次選考では、応募者自身によるプレゼンテーションと実物審査を、学生部門の二次選考では実物審査（小中学生は模型可）を行います。なお、応募多数の場合は両部門とも一次選考の前に予備選考を行います。

※一次選考：7月7日（予定）

※二次選考：8月30日（予定）

（第33回リハビリ工学カンファレンス in あつぎ会場内）

発表・表彰

入賞作品の発表および表彰は、第45回国際福祉機器展 H.C.R2018（10/10-12 東京ビッグサイト）で実施予定。入賞者への通知は9月上旬となります。

バリアフリー2019（4月中旬大阪市）などの『一般社団法人日本リハビリテーション工学協会』ブースにおいて実物またはパネル展示を予定しています。また、一次選考通過作品は第33回リハビリ工学カンファレンス in あつぎ（厚木市）で展示（8/29～31）。

最優秀賞：各部門1点（賞状、トロフィー、記念品、賞金 / 機器開発部門 10万円、学生部門 5万円、小中学生は記念品贈呈）

優 秀 賞：各部門数点（賞状、記念品）

※小中学生については特別賞を付与する場合があります。

30周年記念特別賞：賞状、記念パネル 両部門毎に特に優れていると選考委員会で判断した場合にのみ付与することとする。

*応募用紙は一般社団法人日本リハビリテーション工学協会のホームページよりダウンロードしてください。

<応募に関する留意事項> 全ての応募書類の返却及び参加費の返金はいたしませんので予めご了承ください。また、日本リハビリテーション工学協会では、応募作品を“当協会の出版物やホームページなどへの掲載”や“展示会等において展示”することがありますが、これらの場合を除いた応募作品の工業所有権及び著作権などの諸権利は、帰属しません。

<個人情報保護方針> 応募にかかわる個人情報は、福祉機器コンテストに関する以外には使用しません。



一般社団法人日本リハビリテーション工学協会

www.resja.or.jp/contest

福祉機器コンテスト2018 事務局

〒984-0838 宮城県仙台市若林区上飯田 3-13-33

有限会社 車座 内

電話 022-289-9603

E-mail: contest@resja.or.jp



ループです。1997年より活動しています。活動は、リハ工カンファレンス開催時の基礎講習会、用語の検定などを行っています。関連団体と協力しながら、進めています。

義肢装具SIG

義肢・装具は身体と直接触れる一番身近な補装具です。義肢装具SIGは義肢・装具に興味と関心を持つ色々な立場の人たちが集まり、理解を深めていく場です。初めての人も理解できる基本知識から先進知識まで様々な情報について、講習会やホームページで情報交換を行い、義肢装具に関する諸問題をユーザー視点に立って解決することを目指しています。

《地域支部による活動》

地域支部は、地域で根ざしたリハビリテーション工学の実現と、豊かなまちづくりに貢献するために、各地域での具体的な活動が支援ネットワークの構築を目的として、活動しています。

これまで中部支部、関西支部、九州・沖縄・山口支部が設立されており、東北支部も設立に向けて協賛・準備に入っています。

◆セミナー・講習会の開催

障害のある人のリハビリテーションに有効な工学・技術に関するセミナーや講習会を開催しています。

●リハビリテーション国際セミナー(REIS) (1988年・横浜/1990年・名古屋/1992年・神戸)

●東京理科大学障害者連絡会・日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム (2004年・東京)

●全国障害者連絡会・日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム (2008年東京/2009年神戸/2010年東京/2015年大東/2016年東京)

●国際福祉機器展 HCR、西日本国際福祉機器展、バリアフリー展等の展示会での出展セミナーなど

◆国際連携

北米リハビリテーション工学協会 (RESNA)、欧州リハビリテーション工学協会 (AAATE)、愛州リハビリテーション工学協会 (ARATA) と連携関係の覚書「徳島アグリメント」を締結 (2000年8月)、韓国とのRESKOとも連携協定を締結 (2011年9月) するなど、リハビリテーション工学や福祉用具に関する国際連携活動を行っています。

◎ 入会案内

◆正会員 (会員年度は毎年7月より翌年6月)

当法人の目的に賛同して入会した個人又は団体を対象
入会金 1,000 円および年会費 8,000 円、計 9,000 円を事務局口座にお振込みの上、ホームページの専用フォームにて、または入会申込書 (HP からダウンロード可能) に必要事項を記入し事務局へ郵送またはファックスにて、お申込みください。

◆学生会員 (会員年度は毎年7月より翌年6月)

当法人の目的に賛同して入会した学生を対象 (定職を持つ者除く)
年会費 4,000 円 (入会金不要) を事務局口座にお振込みの上、ホームページの専用フォームにて、または入会申込書 (HP からダウンロード可能) に必要事項を記入し事務局へ郵送またはファックスにて、お申込みください。ただし単年度会員となりますので、継続する場合は毎年入会手続きをお願いします。

※下半期 (1月から6月) に正会員、学生会員で入会した場合、初年度年会費の半額免除を受けることができますが、上半期に発行された協会誌を受け取れません。

◆賛助会員 (会員年度は毎年7月より翌年6月)

当法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体を対象。
1 口 10,000 円で年度あたり最低3口以上を依頼いたします (入会金不要)。

本協会が主催するカンファレンス等、口数に相当する人数が会員資格で参加できます。大口会員には協会誌への広告掲載等の優遇があります。

◆購読サービス (サービス年度は毎年4月より翌年3月)

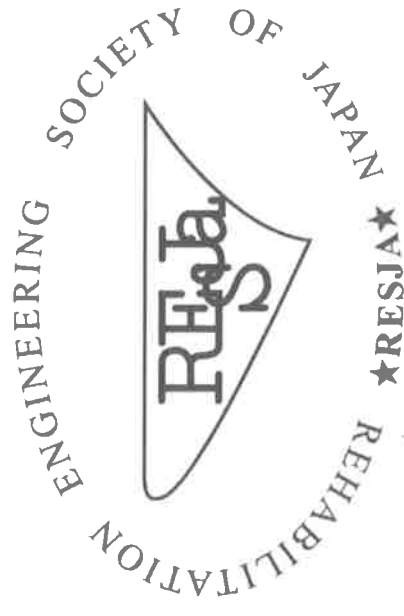
法人・団体が対象。年間 10,000 円で当該年度に発行する協会誌 (年4冊: 5、8、11 月、翌年 2 月発行予定) ・リハ工カンファレンス議説論文集・福祉機器コンテスト報告書を購読できます。また、年間 5,000 円で協会誌のみ (4 冊) の購読もできます。購読サービス申込書は事務局へご請求下さい。

登録手続きに 2~4 週間かかる場合がありますのでご注意ください。
年度途中の入会の場合でも、その年度に発行された協会誌を受け取ることができます (正会員・学生会員の下半期特例を除く)。

※詳細は入会案内をご覧ください。いただくか、事務局までお尋ねください。

一般社団法人

日本リハビリテーション 工学協会のご案内



<http://www.resja.or.jp/>

事務局

〒235-0033 横浜市中区杉田 2-7-20

電話 045-353-8364 F A X 045-353-8365

E-Mail : resja@resja.or.jp

郵便振替 口座番号: 00260-9-54031

口座名称: 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
(シヤ) ニホンリハビリテーションコウガクキョウカイ

2017.09

日本リハビリテーション工学協会は、生活を行う上で障害を有する人々に対し、その生活を豊かにするための工学的支援技術を開発・普及させるとともに、この技術を通じて学術・文化・産業の振興に寄与することを目的とし、この目的に賛同する個人および団体によって構成されています。

◎ 会員の特典

- ・ 協会誌「リハビリテーション・エンジニアリング」を送付（年4回）※バックナンバーも会員価格で購入できます。
- ・ 協会誌に論文投稿ができます。
- ・ 「リハビリテーション」(研究発表大会)にて発表することができます、会員価格で参加できます。
- ・ その他、協会主催セミナーに会員価格で参加できます。

◎ 協会事業

◆ 「リハビリ学カンファレンス」

障害のある人のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで議論することを目的として、毎年1回全国各地で開催しています。リラックスした雰囲気で議論するために、ノーネクタイであることが特徴です。

第33回リハビリ学カンファレンス
2018（平成30）年8月29日（水）～31日（金）
会場：厚木市文化会館
（神奈川県厚木市恩名1-9-20）

◆ 福祉機器コンテスト

障害のある人や高齢者のために新しく開発された福祉機器を披露し、優れた機器を表彰するとともに、学生を対象とした啓蒙・普及を通じてこの領域に関する認識、参画を促進することを目的とし、年1回開催しています。一般を対象とした機器開発部門と、学生を対象とした学生部門があります。

2013年度は、25回目の開催となります。

◆協会誌「リハビリテーション・エンジニアリング」発行
特集記事や技術論文を掲載した協会誌「リハビリテーション・エンジニアリング」を年4回発行しています。

そのほか、障害のある人のリハビリテーションに役立つ工学・技術に関する図書を発行しています。

◆分科会活動

《SIG活動》

SIGはSpecial Interest Groupの略称で、「シグ」と呼んでいます。リハビリテーション工学に関係するさまざまな分野や興味ある領域ごとに、現在、10グループが活動しています。

コミュニケーションSIG

コミュニケーションは、人が生きていく上で使用するツールであり、障がいのある人々が日々の生活において生き甲斐や自己の役所を見出す上で重要な意味を持ちます。

コミュニケーションSIG（COMSIG）は、コミュニケーション機器や操作スイッチなどに関する情報収集や情報交換、講習会などの啓蒙活動、わが国における先導役として取り組んでいます。

SIG姿勢保持

取巻の障害や高齢化によって座位などの姿勢を保持することが困難な場合、生活のあらゆる場面での適切な姿勢を保持することにより、自立を支援しQOLを高める必要があります。

本SIGでは障がい者・高齢者まで個々の状態に対応した姿勢保持や理論から実践までの技術について、毎年開催する講習会や講習会テキストなどによって伝達・情報交換を目的に活動しています。

車いすSIG

車いすSIGは車椅子に興味と関心を持つ人たちが集まり、車椅子に関する技術や知識を深め、使い方を学び、作り方などを発展させようとする会です。

車椅子に関わる問題と解決方法を探るとともに、車椅子を必要とする人の生活や車椅子の質の向上をめざして、車椅子に関する講習会の開催、テキストの編集と発行、車椅子の歴史調査、JIS/ISO規格等に関する調査研究、製品の情報伝達、車椅子工学領域の調査研究など、メンバー相互の情報交換を行っております。

乗り物SIG

乗り物SIGは、生活に不便を感じる小児、大人、高齢者、一時的な障害をお持ちの方などの移動や乗り物全般、公共交通のバリアフリー、近未来のモビリティなど、移動環境を取り巻く様々な問題について、会員相互で年齢、立場を超えて情報交換し、議論して情報を求めている方々への確かな情報伝達を目的に活動するグループです。

自助具SIG

自助具SIGは、不便を感じながら自立生活を営む人々の日々の生活をサポートする環境づくり・モノづくりのグループです。自助具とは、体の不自由な人が日常生活動作をより便利に、より容易にできるように工夫した道具です。私たちは、自助具使用にあたっての適応とその効果の判定や、自助具の型別・技術を体型に合わせたため、自助具に関する研究・開発・情報交換を行い、普及・促進を図ることを目的として活動していきます。

特別支援教育SIG

特別支援教育SIGは、障害のある子ども達の中で、生活面や学習面、遊び、教育制度、その他さまざまな困り事について、工学的なサポートを通じて改善しようる情報を交換・共有することを目指すグループです。他のSIGとの交流をはじめ、子どもの育ちを支える情報交換・伝達を目的に活動します。

SIG住まいづくり

SIG住まいづくりは、多様な分野からの参加者を得て「住まいづくり」に必要な、技術的課題の解決を求め、チームアプローチによる課題解決の方法論、情報の交換から学術的な研究までを行うことを目的としています。また、まちづくりなどバリアフリーデザイン全般への関心も目指します。

移乗機器SIG

「移乗」は障害者・高齢者の生活範囲を広げる基本動作です。本人も介助者も、楽に安心して、安全で満足できる方法で移乗動作を行うことが大切です。本人の能力を活かし、介助者の身体を守る方法とはどのような方法でしょうか。移乗に関連した福祉機器類を中心にしながら、移乗動作のあり方や移乗用具の選定方法などを考えていくグループです。

SIG褥そう防止装置

SIG褥そう防止装置は、褥そう予防のために基礎研究から臨床応用まで幅広い範囲にわたって専門が異なるさまざまな職種が協働しているグ